

平成26年度 総合評価書

「政策の企画・立案に時間を割くことができるような体制を確立するため、業務改善・効率化の取組を進めること」について

平成26年8月

大臣官房総務課（小林洋司課長）

大臣官房人事課（濱谷浩樹課長）

1. 政策体系上の位置づけ

評価対象事業は以下の政策体系に位置付けられる。

【政策体系】

基本目標：国民に信頼されるとともに、職員一人一人がやりがいをもって働くことができる体制を確立すること

施策大目標：職員の育成と職場環境の改善を図ること

施策目標：政策の企画・立案に時間を割くことができるような体制を確立するため、業務改善・効率化の取組を進めること（施策目標XⅢ－2－4）

2. 現状分析

平成25年8月に設置した「組織活性化推進プロジェクトチーム（主査：厚生労働審議官）」等を中心に、厚生労働省全体で業務改善に向けた取組を総合的に推進している。

具体的には、平成25年8月の「組織活性化に向けた取組について」（組織活性化推進プロジェクトチーム）において、各部局長が先頭に立って、当該部局について現状分析を行った上で「人材育成」「ワークライフバランス」「業務効率化」を3本柱とする「組織活性化方針」を取りまとめることを決定し、省内幹部会議において本件の要請を行い、各部局では組織活性化方針を作成の上、現在、これに基づく取組を進めている。

3. 評価結果等

平成25年8月に、「明るく楽しい職場づくり」に向けて、現状を把握し適切な対策を講じることを目的として職員に対するアンケート調査を実施したところであり、その結果を踏まえ、生活のゆとりの確保に向けた取組（指定休暇・節目休暇制度の弾力化等）やこれまでの業務適正化の取組の再周知等を行った。

4. 今後の課題と取組の方向性

今後も、「組織活性化推進プロジェクトチーム」等を中心に、厚生労働省全体で業務改善に向けた取組を総合的に推進する。

特に、平成26年7月に「業務適正化推進チーム（主査：副大臣、副主査：政務官）」において、業務適正化に向けた様々な取組がとりまとめられたところであり、今後、更なる業務の改善・効率化のため、その具体化・着実な実行に取り組んでいく。

5. 参考

- 平成25年度及び平成26年度の組織目標について
<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/soshikimokuhyou/>